

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年6月22日（木）

### 2 確認箇所

K4タンクエリア及び周辺、A排水路放水ゲート、K1北タンクエリア

### 3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備及び関連施設における異常発生時の機動的対応訓練の状況

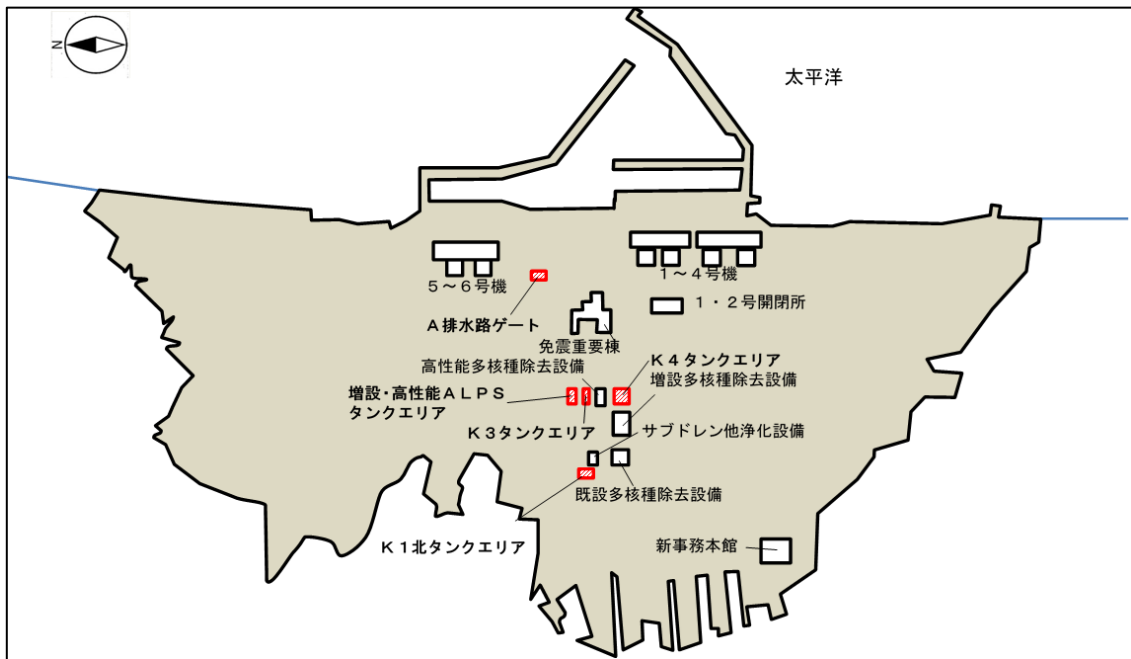
### 4 確認結果の概要

多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）が安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下、「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が規制基準を厳格に遵守するだけでなく、政府の基本方針に基づき、1,500Bq/L未満を満足する濃度になるよう、海水で大幅に希釈され、海洋へ放出される計画となっている。

東京電力では、ALPS処理水の測定・確認用タンク（K4タンク）の連結弁を自動弁に改造するための手続き等を進めているが、県では、福島県原子力発電所安全確保技術検討会において、弁の改造が完了するまでの間、大きな地震等によりK4タンクの連結管等が損傷してALPS処理水が漏えいし、堰を越流するリスクがあることを指摘している。

本日、堰を越流する事象発生時の被害拡大防止を想定した模擬訓練が行われたことから、状況を確認した。（図1）

- ・ K4タンクエリア東側は下り勾配となっており、タンクから漏えいした水が排水路に流入する可能性があることから、流入リスクの高いK4タンクエリア東側の排水路付近にて、土のう設置訓練状況を確認した。（写真1）
- ・ 上記排水路に流入した際に流れこむA排水路にて、海への漏えいを防ぐため、ゲート封鎖及びK1北タンクエリアの堰内に水を移送するための訓練状況を確認した。（写真2）
- ・ K4タンクエリアの堰を越流する前に隣接するK3タンクエリアや増設・高性能ALPSタンクエリアの堰内に水を移送するための訓練状況を確認した。（写真3）
- ・ K4タンクエリア堰内から直接水を吸引し、プロセス主建屋に水を移送するための高圧吸引車（パワープロベスター）の操作訓練状況を確認した。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
土のう設置訓練の状況  
(グレーチングに土のうを設置している様子)



(写真2-1)  
A排水路移送訓練の状況  
(ポンプ起動模擬訓練)



(写真 2 - 2)  
移送先の K 1 北タンクエリアの状況



(写真 3 - 1)  
K 4 タンクエリア移送訓練の状況  
(ポンプ起動模擬訓練)



(写真 3 - 2)  
移送先の増設・高性能ALPS サ  
ンプルタンク堰内の状況



(写真 4)  
高圧吸引車の操作訓練状況

5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。